



事務事業の実績について



区の仕事の進み具合はどうなっていますか？

区の仕事には貴重な税金が使われており、また、区役所では多くの職員が働いています。区民の皆さんからのさまざまな要望に応えるためには、これら限りある税金や職員を有効に活用する必要があります。

また、区の仕事が現在どこまで進んでいるかという事務事業の実績や進捗状況を、区民の皆さんに知っていただくことが大切です。

そのため、事務事業ごとに、事務事業実績シートを作成して、区がサービスを提供するためにどれだけの活動をしたかを数値にした「活動指標」や、事業の目的がどれだけ達成できているかを数値にした「成果指標」を報告しています。

また、その事務事業を行うためにどのくらいのコストがかかっているか、こういった財源をもとに事務事業を行っているかということについても報告しています。



今、区が行っている取組みとは？

東日本大震災をはじめとする社会経済状況の変化は、区が取り組むべき新しい課題を生むとともに、区の財政状況にも大きく影響をもたらしています。

現在、区では、区民の皆さんが明るい希望を持ち、安心して住み続けられる台東区であり続けるために、将来を見据えた取組みを実施しています。

具体的には、歳入の面では、広告収入の拡大を図るなど、今まで以上に収入確保に努めていくとともに、歳出の面では、事務事業の中身を一つずつ検証し、見直しを行って支出をおさえていきます。

このため、従来実施してきた行政評価（[☞解説](#)）は、事務事業の見直しを行う平成24年度から26年度の間、一時休止しています。

【解説】

行政評価

社会情勢やニーズの変化に対応した弾力的な区政運営を目指すため、人材や予算といった経営資源が有効に活用されるように、政策や施策、事業を検討する仕組みです。

台東区では、従来より、事務事業を対象にした「事務事業評価」、事務事業を大きく捉えた「施策」を対象にした「施策評価」、さらに、職員が行う評価のほかに、専門家や区民が評価をする「外部評価」を実施し、施策や事業の必要性や課題を定期的に検証してきました。